

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 22 [2018年10月11日(木)]

♪我がふるさとよ♪

私事で恐縮です。10月8日(月)に県立体育館で行われた、3000人の「大いなる秋田」特別演奏会について書かせていただきます。

すでに、新聞やテレビでも何度か報道されていましてご存じかもしれませんが、この企画は県立体育館開館50周年、県吹奏楽連盟創立60周年の節目に当たる今年、50年前に「大いなる秋田」が初演された場所である、県立体育館で再び演奏しようということで始まりました。

せっかくのイベントなのだから、収容人員一杯の3000人で大合唱しようという目標が立てられました。しかし、実際に集まってくれるのかは、まったくの未知数でした。ところが、当日は本当に3000人を超え、県立体育館は3階席まで満杯になりました。県立体育館の職員の皆さんを始め、多くの方々の力添えのおかげだと思っています。

私は指揮をさせてもらったのですが、当日はお客様に歌っていただけるのか不安をもっていました。ところが、本番が始まる前に「県民歌」と「県民の歌」のリハーサルが始まった瞬間、そんな私の不安は消し飛んでしまいました。歌うために立っていただくことをお願いしたところ、即座に3000人が立ち上がり、最初から体育館を圧倒するような、見事な歌声を響かせてくれました。私は心が震えました。

私は今までに、3000人という数の人を目にしたことはありませんし、もっと多い人数の前で演奏もしたこともあります。しかし、同じ目標で動き、そして同じ歌を声高らかに(しかもうれしそうに)歌ってもらったのは初めてでした。まさに「壮観」という言葉がふさわしいものでした。高齢の方も多かったのですが、若いお父さんが自分の子どもに教えながら歌っていたり、中高生が懸命に歌っていたり(山王中生もいました)する姿もあり、どれだけの人に愛されている曲なのか、ということに改めて実感しました。

私は指揮をしながら、この時ほど「秋田県人でよかった」と思ったことはありませんでした。他の都道府県でもそれぞれに大きなイベントはあるはずですが、「県民歌」を歌うという目的のためだけに3000人という人が集まり、しかも心からうれしそうに歌うことができるのは、秋田県民だけなのではないかと思ったのです。「大いなる秋田」の合唱の一番最初の歌詞は♪我がふるさとよ♪です。この日ほど、ふるさと秋田のことを感じたことはありませんでした。

山王中では「県民歌」を合唱コンクールの課題曲にしています。3年生の全クラスが歌う事で、1、2年生は自然にこの曲を覚えてくれているはずですが、卒業後、いつの日か何かの機会に「県民歌」をまた歌ってほしいと思っています。そして「ふるさと秋田」を存分に感じてほしいです。そのためにも、「大いなる秋田」がこれからもずっとずっと演奏され続けていくことを心から願っています。※13日(土)の17:55から演奏会の様子がAKTで放映されます。お時間がありましたら、ご覧ください。

〔生徒指導主事：木内記〕

「(挨拶)あいさつを変えるのは？」

昨日の始業式で、私は挨拶について話しました。現在の山王中生の挨拶も悪くはないが、もっと声を出すべきだし、誰に対しても挨拶するべきだ、ということをお伝えしたつもりです。ポイントは「相手よりも先に」です。早速昨日の帰りから、素晴らしい挨拶をしてくれる生徒が一気に増えました。これからの期待します

携帯電話等の調査の依頼です！

本日ご家庭に「携帯電話、インターネット利用状況調査」のご協力をお願いと、質問用紙を配布いたしました。

お忙しいところとは思いますが、10月15日(月)までに、各担任へ提出していただくようお願いいたします。